

来場者一万五千人！

昨年11月にユネスコ無形文化遺産へ登録されてから初の開催となった「毛馬内の盆踊」。連日の暑さが残る開催でした。毛馬内の盆踊は衣装に特徴があり、着物に手拭いで頬かむりをし踊るため、暑い中での踊り手は、特に大変だったことでしょう。



通常開催となった初日には「子ども盆踊コンクール」が行われ、1位・2位の2人が、その印である襷をかけて3日間踊ったそうです。毛馬内の盆踊は、呼び太鼓で始まり、大太鼓と笛の囃子で踊る「大の坂」と唄のみで踊る「甚句」の二つで構成されています。甚句は、

日常の生活を表す歌詞が歌われることから、内藤湖南先生顕彰会会員であり、十和田小学校校長の成田勇信先生が子どもたちへ思いを込め、唄をご披露したそうです。来年も楽しみですね。



秋田の美味しいもの♪

暑い日が長く続き、うんざりする毎日。こんな風に暑い日は、ババヘラがおいしいです。シャリシャリした触感と爽やかな風味が大好きです。

そして、桃が旬を迎えました。鹿角では約20種類の桃が作られていて「北限の桃」がブランドとして定着してきました。しばらく、おいしい桃が楽しめそうですね。



ファイールドワーク  
参加者募集！

今年は、十和田湖畔の近代史の遺跡を巡るファイールドワークです。10月2日(月)午前9時、先人顕彰館駐車場集合です。定員は先着16名です。

詳細は鹿角市先人顕彰館までお問合せください。

お問合せ先 ☎ 35-5250 まで